

# 6月 もりぴただより



2024.6.15  
放課後等  
デイサービス  
もりぴた

暑くなってきました！外あそびの時間が増えてきました。今年は「もりぴた畑」も本格化し、土づくりから種植え、ネットがけ、水やり、看板づくりなどなど、お仕事とあそびの中間のような時間も増えてきました。もりぴたも子ども達と一緒に少しずつ変わっています。

## あそびはシンプルで奥深い

突如はじまった「じゃり洗い」。  
目的は？意味は？終わりは？  
そんなものはなくていい。  
おもしろいからやる、続ける。  
あそびの原点。



畑は土づくりから。人も一緒かも。



鹿よけにネット張り。  
そっち持っててね。



暑い日は子どもも野菜も水浴び。



お仕事っておもしろい。いや、  
おもしろいが仕事になればいい。



ありを集める。ありにとって過ごしや  
すい環境ってどんなだろう？



もりぴたに現れた海。自然と  
人が集まってできたあそび。



登録児童数：26人・スタッフ：8人（2024.6.1現在）

放課後等デイサービス  
もりぴた

〒005-0861  
札幌市南区真駒内165-206

お問い合わせ  
011-211-6882  
[https://h-navi.jp/support\\_facility/facilities/161466](https://h-navi.jp/support_facility/facilities/161466)

## コラム

最近、いくつかのこども園さんにお邪魔して、近隣の公園や園庭をつかった樹木あそびプログラムを提供しています。園ごとにこども達の雰囲気も変わりますが、年中さんと年長さんでも本当に大きく変わることに驚いています。1歳ちがうことの大きさを改めて感じるとともに、われわれ大人にとってはたった1年も、こども達にとってはどれだけ計り知れない時間の大きさなのだろうと思います。また、私（大人）の身振り手振りが重要なことも改めて身に沁みました。こども達はとても原始的な存在（正しい表現ではありませんが…）で、私たち大人に対してとても素直な反応を返してきます。私が楽しそうだったら「楽しいね！」と、私がおもしろそうだったら「おもしろいね！」と、私がさみしそうだったら「さみしいね！」と返ってきます。私はプログラムを提供する側なので今さら木々や草花、生き物すべてに本当に新鮮な気持ちで接することは少なくなってきましたが、それはこども達に見抜かれてしまうのです。見抜かれてしまった時は、やっぱりこども達にネタは受けず、「スベる」のです。だから、絶対にバレないくらいに心から「演技」をする必要があります（全く得意ではありませんが…）。「なにあれ?!」「わー、不思議だね!」「今、木から声が聞こえたよ!」などなど。そうすると、こども達は「本当に木から声が聞こえた!」なんて返してくれます。

これまで幼児さん相手にプログラムをすることはあまりなかったのですが、なんだかこどもと接するための原点に触れさせてもらったような気がしました。いや、きっとこどもだけではなく、人と接する時の原点でもあるような気がします。よく「他人は自分を映す鏡」と言いますが、きっと自分が望む他人との関係性をつくるには、まず自分から（演技を）始めなければならないということだと思のです。本心をいつも隠さなければならないということではなく、他人に望むならばまず自分からそのように接する、ということなのだとは私は考えます。私たちはいつもこどもと接していますが、時々、こどもと大人という関係性に甘えてしまうことがあります。ですが、大人とこどもではなく、きっと人と人の関係性であって、そこにはあって当たり前前の対等性と鏡の法則があって、こども達の成長を見守るひとりとして、演技が必要な部分があると思のです。

（管理者 崎川）



余談ですが、これまで管理者は赤色のエクストレイル車に乗っていましたが、年始の能登半島地震に際して、現地支援のためにその車を提供したため、黒色の同型に乗り換えました。そこで、送迎車掲示用の写真を利用児童のひとりが黒色に塗り替えてくれました（笑）。

いいですよ。変更や修正なんて、こんなものでいいんです。

## 6月の行事

- 8日 もりぴたcafe
  - 13日 衛生管理研修・訓練
  - 29日 防犯訓練
- 6月中 羊の受入準備

## お知らせ

【服装・持ち物に関しまして】

暑い日が続いております。お子様の服装は体温管理ができるものと着替え・水筒のご用意をお願いいたします。また、お弁当をお持ちの際は保冷剤等のご準備もご協力いただきますようお願いいたします。

6月 もりぴただより（裏面）

